



宇治市機関

発行所 宇治市役所
京都府宇治市宇治妙興160の1

宇治市住民登録人口
(34.3月末)

世帯数	10,376世帯
人口	46,823人
男	25,296人
女	21,527人

健康で明朗な宇治市を

市長改選後初の市会で語る

もともと身近な地方選挙として、市民の関心を集めた二十四人の市議会議員が決定し、この新議員による初めての市会が去る五月十八日にひらかれた。新市長はこの機会にあたりて新議員に当選の喜びをのべるとともに、次のように市政の考えをのべて、市民の協力をもとめました。

現下の市政についてでございますが、先般、昭和三十四年度予算につきましては、前議会において御承認を願ったわけでございまして、新しく御当選になりました議員の各位に対しましては、先頃一応御参集をお願いし、御説明を申し上げたのでありますが、改めて是非新しい議員さん、前から引継いで御当選いただきました議員さんともに、予算執行につきまして、いろいろと御尽力をお願いしたいと存じます。

改選後の初市会 各役員を選任

五月臨時市会
は、去る五月十八日午前十時から市の公会堂でひらかれた。改選後の初市会として高田市長と新議員の初会合が行われ、市長は先頃一応御参集をお願いし、御説明を申し上げたのでありますが、改めて是非新しい議員さん、前から引継いで御当選いただきました議員さんともに、予算執行につきまして、いろいろと御尽力をお願いしたいと存じます。

注目の正副議長は、選任された市会役員は次の通りである。

議長 高田 正一
副議長 川田 平八郎
市会選出 監査委員 金井金一郎
常任委員 松田 隆、長村源次郎、金井金一郎
教育民生委員 北山一盛、大野光孝、藤井平八郎
産業観光委員 北川兵太郎、江口四郎一、高田政雄、脇田政一、池本三郎、山口光雄
建設委員 菅野久三郎、△福山藤次、上田正夫、野口茂、小永井勘一、阪田緑郎
都市計画・都市地方審議会委員 山口光雄、太田孝、飛田保雄、阪田緑郎
出納臨時検査立会委員 野口茂、江口四郎一、北山一盛

(○印は委員長△は副委員長)

国民健康保険 推進委員を委嘱

宇治市では、市議会議員選挙等によつて、新たに次の方々を委員に委嘱した。

国民健康保険普及推進委員会

に健康で明朗な文化的な宇治の建設に進みたいと考えておる次第でございます。

そして親しく市民になるべく多く接し、市民の心を心として議員各位とともに、その御協力を得、その御批判を仰ぎながら、皆さんとともに宇治市政を担当して行きたいと存じております。公私ともよろしく御厚誼にあずかりたいと存じておる次第であります。

ここに光輝ある御当選をお祝い申し上げるとともに、いろいろとお願いを申し上げます。御挨拶申し上げる次第でございます。

市長の演説から

新市長の説明を聞く衆議員議員の一行



国際会議場

視察続く
衆議院一行十一名
衆議院の、建設委員長堀川恭平氏一行、十一名は六月五日、宇治市を訪れ、国際会議場予定地折居官山を視察した。市側からは、新市長、岸公室長、浅野企画広報課長ら、市会側から脇田、川田、正副議長らが現地へ案内し説明陳情を行いました。(写真上)

府会誘致委員も

は、新しい委員を迎えて、いよいよ、昭和三十六年四月一日から法によつて強制実施になりますので、本年度より、調査研究を充分慎重に実施して、市民の健康の向上のため国民健康保険推進に努めるため審議を進めます。

市民俳壇

昨今 雑事
上林 景月
挿菊の礼書く親土において
菊を挿す空飛行雲の曳く
驚に背向け菊を挿しにつく
菊を挿し都忘れぬにけり
隼人瓜よくに伸びぬ尺あまり

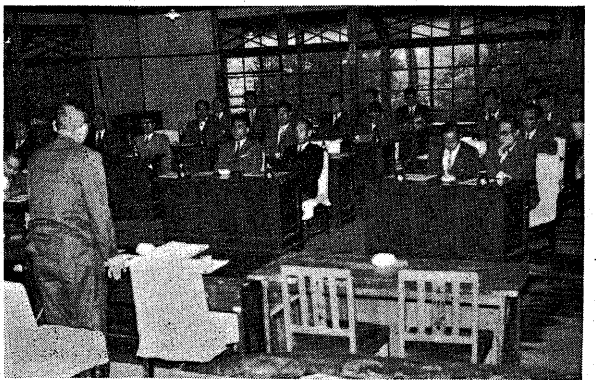
小倉を指定地区に

伝染病予防に総合対策
京都府では今年度伝染病、予防特別対策地区として小倉地区(戸数三二六戸、人口一、六五二二人)を指定しました。

う飼はじまる

十三日から毎夜
夏の宇治を色どる名物、宇治川の鰻、今年は六月十三日から八月末まで、鳥帽子、腰みの姿のう飼のあやつる糸に冷味しんしんです。うかのお問合せは、宇治観光協会、宇治川通船KK、市役所商工観光課(電話宇治四四〇)へ

わが宇治市は洋々たる前途をも



赤字におきましても、まだ解消しきつたというわけではなく、三十四年度にわたって、これが解消に計画的に進まなければならぬと考えるわけでありま

全 国 交 通 安 全 運 動
よい子は道路で遊ばない
6月10日
20日まで

家庭でも
商店でも
ラジオ京都の
宇治市政だより
毎週 木曜日
午後五時五分から

杜教直云

「誰に言わんときや」「これは内証やけど」と前置して、AはBにある秘密ごとを語る。Bは同じ前置をしてOに漏らす。こうした要領で、内証ごとが、却つて早く一般に広がり、その中に事実が歪曲されたり、針小棒大になつて、時には取返しのつかぬ事態をひき起す。

一桶は口より出づ」余り要らぬおしやべりはせぬに限る。わけても秘密は口から洩れる。

○春陽所大相撲は若の花が優勝した。実力者が物をいつたわけだ。昔ての大内、松笠、三根山は平幕に、大内山に至つては、幕下に転落している。まさに勝負の世界は厳しく、実力以外に何物もない。すべての世界が実力本位であつたら、横綱、大関格の人でもつうに幕下十四以下に転落しているだろうが、そこは結構なもので、縁故、とりまき、ひも、要領、そんなものが実力以上に物をいつて、依然然の地位にあぐらをかいていける。これではよいのかんや?

○宇治バス、京阪バスでこんな風景を見受ける。どんなに車が混んでいても席を譲る。指図する人が数人いる。彼等は身分証明書を持つていて料金金を払わぬ。この調子だから、一人前の料金金を払っている一般大衆が、老人、婦女子孫を譲らぬのは無理ない。今や社会は乗物内で老幼に席を譲らぬことが、常識になりつつある。何だか心淋しく、時に淡い憤りさを感じる。これは、頭の古いせいかな?

○この頃の若いものは」と大人がいう。「おとなは頭が古い」と反論する。結局おとなが理屈にまけてつうすり自衛を失つていく。いくら頭が古くても、経験だけは積んでいる筈だ。もう少し自信を持つ反面、頭の切り換え、洗脳に難儀するらうか。

○花から若葉、やがて夏が訪れる。大自然は年々歳々同じことを繰返している。然し人間はそれではないのだ。進歩向上、日々々に新であらうものだ。……いまだに生……

心地よい
夏の暮しの
工夫は

衛生害虫駆除については日本で終戦後米駐留軍によつて厳しくおこなはれたり、又政府からの命令には中々成功しなかつたが現在では一般国民の間から盛上つて各地優良な成績をあげ、益々運動が活潑に進展していることは吾々につて嬉しいことであります。

蚊(一)テング熱媒介体
ヒトスジシマカ(墓地、防
火用水)
アカイエカ(溝、ドブ)
(二)マライヤ媒介体
小型アカイエカ
カラツイエカ(山麓の湧水
水田湿地帯)
アゲ蚊(川の淵の岩の洞穴)

めに雪が長もちしないので御注意下さい。

ゴミ収集は スズでお知らせ

市では現在ダンブカー二台、三輪車一台リヤカー一台をもつて市内を四日一回又は五日一回の割合でゴミを取つて廻つていきます。しかし雨が降りますと少しづつ遅れることがあります。

この収集車が町内をまわるときは必ずスズを鳴らしながらゴミ取りの通知をして走り、次に元の所へ戻つてから、ゆつくりとゴミを取つて進みますから露地奥や、声の听えない所の方は御面倒でも必きずスズが鳴つたらゴミ箱を道路端まで出して下さい。厚生課衛生室

